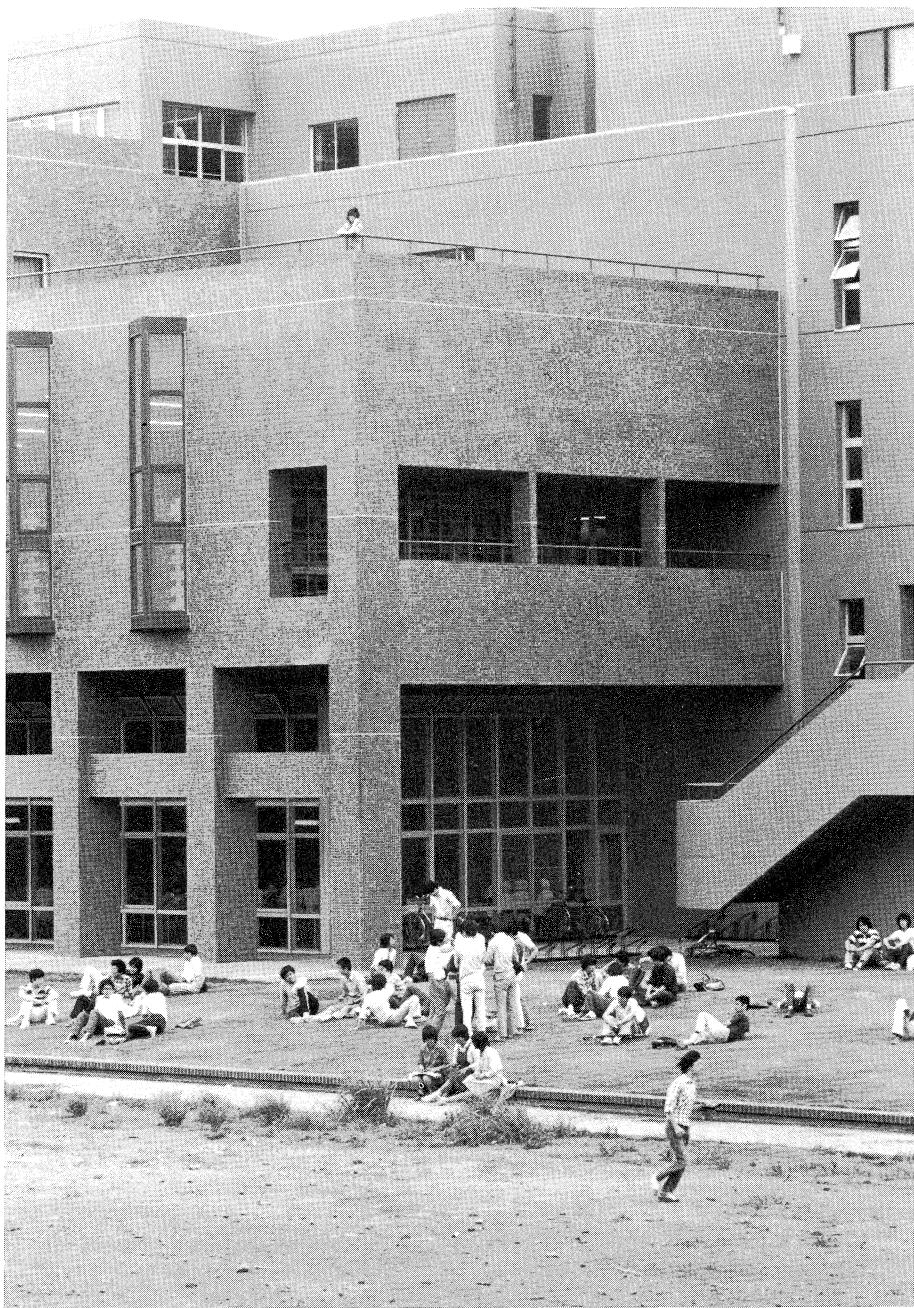


I 部 基本理念と計画条件



1. キャンパス計画の基本的考え方

この大学は、筑波研究学園都市というわが国のみでなく世界でも極めてユニークな頭脳都市に立地するものであり、その中核的存在として都市の発展の原動力となることが期待されている。そしてこれはまた、ニュータウンの建設とニュー・ユニバーシティの創設とを結びつけた世界的に貴重で先駆的な試みでもある。さらにこの新大学は、40年代の世上を賑わせた、曲り角にある大学問題に対する国のひとつの回答としての新構想大学であり、その内容の如何は別としても、わが国の中ではない画期的なシステムを内包する独創的アカデミック・プランを有する大学でもある。またそのキャンパスは、約250ヘクタールというわが国最大のものであって、その計画には独自の判断を要求されるものと考えられる。

したがって、このキャンパスにおける施設建設、環境整備にあたっては、研究、教育をはじめとするその独創的多角的な活動を支え、効果を發揮できるように考えるとともに、学生、教職員およびその家族が充実した生活を営むことができるよう配慮することが必要である。また、開かれた大学という建学の精神にもとづいて、地域社会の諸活動との深い関連性を十分意識しなければならない。これらの認識にとづき、施設、環境計画の立案にあたっては、以下の諸点をその基本的考え方としている。

- 1) 大学キャンパスの計画は、多様性に富んだ大学の諸機能を、長期にわたって十分發揮しうるよう総合的になされなければならない。また、その施設、環境は研究教育活動の発展変化に柔軟に対応できるように計画されることが必要である。
- 2) 大学の施設、設備については、従来の基準にとらわれることなく、先進的なこの大学の目的を達成するのに必要な高水準のものを実現すべきであり、そのための予算的裏付けが必要である。とくに現在の基準では明らかに不足と考えられる生活福利施設および居住施設については、大学の立地性をも考慮した大巾な引上げをしなければならない。
- 3) 大学は、その立地する都市との間に空間的、機能的な連続性をもつことが必要であり、そのキャンパスは大学人と市民との間に連帯感をかもし出すことができるよう、全体として開放的に計画することが望ましい。また同様に、大学人にとっても帰属感を与え得るよう、十分個性的な空間構成をもつことが必要である。
- 4) 新大学では、自然的環境の確保とバランスのとれた密度の高い都市的な空間構成とが必要であり、大学人の生活の場にふさわしい、変化とうるおいのある景観デザインがなされることが重要である。したがって、従来比較的なおざりにされがちであったキャンパスの屋外環境整備についても、施設、設備の水準向上にマッチした高水準の整備と維持管理が行われるべきである。
- 5) キャンパス敷地のもつ良好な自然的環境を長期的に保全するための総合的な計画をたてることが必要である。

- 6) この広大なキャンパスにおける諸活動を効率よく行いうるよう、主要機能を集中的に配置するとともに、構内移動のための有効な手段を検討するべきである。
- 7) 長期にわたる建設の過程においても、円滑な日常生活と大学運営を行いうるよう、大学開設年次計画に対応した段階建設計画がたてられなければならない。
- 8) 大学の施設、環境の計画および設計については、広く関係方面の有識者の意見、協力を得て行う必要があるが、とくにシンボルとなる施設については優秀な建築家に設計を依頼する方針とする。
- 9) キャンパスの計画については、常に大学の研究、教育、管理機能の変化発展に柔軟に対応する適切な対策の立案と意志決定を必要とするため、専門の全学的委員会（施設・環境計画審議会）を設置するとともに、常設的な計画、設計組織を確立することが望ましい。

以上が、昭和47年に筑波大学の建設を開始するにあたって、関係各機関の間で確認された基本方針である。その後11年間の計画、設計、建設のプロセスを通じて、この方針は再確認を繰り返され、キャンパスの実現の大きな支えとなつたのは事実である。しかし、これらの方針のなかには水準の向上のように程度の問題に帰する項目や実施してみて到底困難な段階建設の項目などもあって、方針自体がどれだけ実現したか、についてはより具体的に検討しなければ評価を下すことは難かしい。ただこの大学の建設には、通常の国立大学の施設建設に欠けていた総合的な視野と柔軟なシステムとが存在し、それがこの複雑で長期にわたるビッグ・プロジェクトを効果的に推進したことは指摘できよう。

また、基本方針にあるように、このキャンパス・プランを大きく規定し、その計画条件となったのは、独得のアカデミック・プランの存在と研究学園都市というこれまたユニークな都市との関係の追求、という2点である。以下、この2点について述べる。